

3月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和8年3月3日(火)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 尾台弘枝
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 森山正一

一 開会(宮下教育次長)

令和8年3月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 皆さんおはようございます。いよいよ3月となり、特に保育園、学校においては大事な時期を迎えます。今日は雪の予報が出ています。暖かくなってくれば良いなと思います。今年度最終回の定例教育委員会となります。それでは3月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 年度末の教職員の人事異動につきまして県から報告伝達がございました。何れにしても校長先生からお伝えいただければと思います。出られる先生方等につきましては、改めてご挨拶したいと思います。お世話になりました。それぞれよくやっただきました。保小中一貫教育が形になってきて、いろいろな場面で一緒に活動したり、先生方が情報交換をしたりして、良い方向を模索していくことができてきました。

今までは一貫と言いましても、コロナ禍もあって交流自体を止めると

ということが続いていました。それが構築できなかった部分でもあります。徐々に形になってきたことに感謝を申し上げます。

それぞれ、年度当初に、校長先生方が新たに着任していただいて、麻績村の教育自体をよく理解し、その方向に向かってさまざまな課題に取り組んでいただきました。ありがとうございました。

いよいよ 17 日が小学校、18 日が中学校の卒業式、そして 25 日が保育園の卒園式となります。子どもたちの成長した姿が一番見ることができる日ではないかなと思います。それぞれの晴れ姿を楽しみにしています。

3 月議会が 4 日から始まります。教育委員会への一般質問を資料へ載せてあります。多くの質問事項が出されています。関心を持たれているということであり有難く思います。

また、3 月の行事を載せておきました。先ほども申し上げましたが卒園式、卒業式が一番大事なところになります。それぞれ準備を確実にしていただくようお願いします。特に中学校では義務教育を修了してその先の進路向かっていきますので最後までよろしくお願いします。

15 日に文化財の防火訓練が予定されています。今年は福満寺になります。去年大雪で福満寺へたどり着くのが大変ないくらいで実施できませんでした。非常に大事な訓練となりますのでお知らせいたします。

スクールパートナーズの運営委員会が予定されています。なかなか思い通りに全体が動いているような状態を生み出せないところでありませす。それぞれの所では活動していただいておりますが、しっかり反省を踏まえて次年度に備えていきたいと思ひます。

それぞれの卒園式、卒業式をぜひ素晴らしい形で、子どもたちを送り出せるようにご尽力いただければと思ひます。よろしくお祈ひします。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野 C O: 高野 C O 欠席のため次長代読(以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

尾台校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

坂口委員： 保小中一貫のところ、やはり親として気になるところは、村としてどのように一貫した教育を進めていくんだらうというところです。
教育委員会としてはどのように考えているのか聞けると嬉しいです。

宮下次長： 教育長いかがでしょうか。

教 育 長： 基本的には、村長の意向が一番強い状況です。そのことに関して、私から先生方へ講話をさせていただいています。保育園の先生方には出ていただくのが難しいので、小中学校の先生方に年2回講話をして村長の意向を伝えています。

それが一番の基本になるかと思えます。それを受けて、校長先生からそれぞれの学年、教科等も含めてそれに合った方法を研修も踏まえて進めていくこととなります。意向は確実に伝えています。

以前からも言われていますが、やっていることがしっかり伝わっていないことが反省として出ています。今後どのように周知をしていくかということが重要です。

坂口委員： 保護者は保小中一貫と聞きますが、交流をしていることは分かっています。交流だけが一貫教育ではないと思えます。やっていることをしっかり保護者に伝えなければいけないと思えます。情報を発信していかないと、保護者は交流が一貫教育なんだと勘違いしてしまいます。教育委員会のやっていることや方針を保護者の耳に届くようにしてください。

宮下次長： 情報発信というところでお話が出たかと思えます。我々の取組は胸を張れる取り組みではないかと思えます。子どもたちの様子を見て感じるところです。自主性が伸びているのではないかと思う場面が多くなっています。このような取り組みを広報していくようにとのご意見が出ましたので、そのように努めてまいります。

四 報告・協議事項

(1) 令和8年度教育関係予算並びに計画について

「社会教育・社会体育事業計画」

2月25日の社会教育委員会・公民館運営審議会で承認済み

教育長: 次長より説明をお願いします。

宮下次長: 資料はついていなくて恐縮ですが口頭で説明させていただきます。全体的に言えることですが、一般職の給料並びに会計年度任用職員の報酬見直しとなりました。令和6、7年度のほうがベースアップは大きかったです。そこまでの上がり幅はありませんが令和8年度もベースアップの方向で予算が認められました。

保育園ですが、来年度から子ども誰でも通園制度が始まることに伴って、生後6か月の未満児受け入れが始まるので物品購入による新たな整備ということで予算計上しております。

小学校では本年度からFF式石油暖房機の更新を少数ずつ始めたところですが、保育園と中学校でも不具合が発生しています。二十数年経過してくると不具合も出てくるのかと思います。そこで、まとめて何か年に分けて更新をしていくところで予算が認められました。

教員住宅であります。先生方から非常に声が多かったエアコンの設置について予算が認められました。暑い夏を迎える前に現状入居のある教員住宅を優先して設置を済ませたいと思っております。

給食の調理現場であります。業務用の冷蔵庫が小中学校で予算が認められました。小学校ではフライヤーの更新希望もありましたが、来年度へ後ろ倒しとなりました。

教育現場であります。小学校で現在エアコンが設置されていない特別教室があります。図工室が令和7年度から使用されたことによりエアコンの設置を行います。

照明のLED化であります。現在は小中学校共に教室のLED化は済んでいます。そこでLED化の済んでいない箇所をまずは小学校から手を付けて行くということで、急遽予算が認められました。

中学校では多目的トイレを設けるということで工事費を見込んでいます。また、1階の会議室を教室として使用できるようにエアコンの設置工事費の予算を計上しています。8年度も工事が多くなりますが、長期休みに工事実施となります。

続きまして計画になります。こちらにつきましては2月25日に行われました社会教育委員会ならびに公民館運営審議会で承認済みとなっているものです。報告案件となります。社会教育事業計画につきまして

は、昨年提出されたものと大きく変わっていません。地域交流センター照明 LED 化事業については、本年度予算計上をして工事が行われる予定でした。交流センターが指定避難所に指定されているために、照明の LED 化だけではなくて、環境省で出している省エネを目的とした国庫補助事業を活用して、エアコンやソーラーパネルなどの省エネ機器の設置を複合的に行ってはどうかと総務部局から話があったために検討を重ねていたところでもあります。災害が起きて指定避難所として開設した時に、現状では発電できる設備がありません。そこで、ソーラーパネルと蓄電池を置いて緊急時に動けるようなものを備えてはどうかと検討していた経緯があります。どのくらいの容量を備えたらいいのか問合せをしていたのですが、最終的な答えが出てきませんでした。今年度の LED 化事業を見送って、総務部局とも相談しながら検討していくことをご承知おきいただきたいと思います。

地区公民館耐震改修工事であります。一昨年の繰越で行っていた桑関地区公民館の改修工事は終わっていたのですが、今年度中に中町公民館が地区の地縁団体から村へ寄付することになりまして、中町の公民館についても耐震改修工事の必要性が出てきました。来年度調査設計を行って翌年度に工事に入りたいと計画しております。

社会体育事業計画になります。こちらにつきましても承認済みとなっております。基本方針、重点目標は変わっておりません。推進活動ですが、村民運動会が 10 月 18 日に予定しております。現状では体育主事がないので教育委員会でも人が少なくてできることが限られています。協力しながら事業推進していきます。

教 育 長: 説明がありましたが、委員の皆様から何かございましたらお願いします。

坂口委員: 社会教育事業計画の青少年育成事業で環境美化活動及び環境教育活動についてお願いします。PTA アルミ缶回収協力とあるのですが、村の人に協力してもらっているから載せているということですか。学校ではやっていますが、どういう意図で載せているのでしょうか。村として何か協力するということですか。協力してもらえらるのならやってもらいたいことは沢山あります。

宮下次長: これは教育委員会の公民館で青少年育成の一環として PTA のお手伝いをしますということです。村で協力するというものではありません。

小松委員： 中町公民館の地区の地縁団体から村所有になった経緯を教えてください。

宮下次長： 24地区ある中で、登記している地区は中町だけです。公民館の前にある駐車場を地区で管理して個人に貸出していました。その収益を地縁として登録して認可団体として運営していました。そのようなことから、他の地区公民館とは違って村所有ではありませんでした。耐震化するにしても自分たちでやってくださいということになっていました。しかし、駐車場の使用料だけで収益が上がっているわけではなかったの、現実的ではないという判断に至った経緯です。

(2) 3月定例議会一般質問通告事項について

教育長： 3月定例議会一般質問通告事項についてお願いします。

宮下次長： 教育委員会に関連するところでは、6番議員の塚原利彦議員になります。質問事項2の8年度からの保育園と中学校の業務や方針についてと質問事項3の不登校児童生徒についてであります。

まず、こども誰でも通園制度であります。令和8年4月からこども家庭庁では本格実施を予定しているものであります。現在の進捗状況を説明するとともに今後の運営見通しと課題について話します。なかなか運営見通しが立ちにくい制度となりますが、こども家庭庁では、少子高齢化の対策ということで、保護者の方々の育児にあたっていろいろな不安をなくしていきたい思っています。そこで、預けるところを全国一律に整備していくことを目的としたこども誰でも通園制度となります。全国どの自治体でも一か所は保育サービスを提供する場所を用意しなさいという仕組みになります。乳児等通園支援事業が正式名称になりますが、対応を図っていききたいという答弁をしていきます。

中学校の部活動地域移行については本日夜検討委員会を予定しております。検討委員会の内容を踏まえるのと、アンケートについて話したいと思えます。アンケートについては予定よりも進捗が遅れている状況です。運営団体、指導者の確保、活動費について非常に課題が大きいと感じています。このあたりの現状を答弁したいと思えます。

不登校児童生徒については、現状の数を答えていきたいと思えます。議会の中で細かいところまでは申し上げられませんが、教育長からの答弁を考えています。

フリースクールの請願であります。村の対応を説明したいと思えます。長野県では認証制度を設けていることを踏まえて答えていきたいと思えます。

す。こちらについても教育長からの答弁を考えています。

次に7番議員の刈間利恵議員であります。健康保険の子ども子育て支援金については、国から教育側のメニューについて具体的に示されていませんが現状を話したいと思います。

通学路の除雪体制については、地区の人々のご尽力によって成り立っているという現状を話したいと思います。麻績村は指定通学路がありません。家庭から届け出たものが通学路となります。そうすると除雪車が入らない道もあって、そのあたりを改善したいという質問のようです。議会での要望を聞く中で皆さんと考えていきたいと思います。

最後に1番議員の高野秀雄議員であります。子育て支援と教育環境の充実の具体的施策について質問をいただいています。こちらについては、給食無償化、保育料の無償化、出産育児支援金など具体的な取り組みがありますので村長から答弁いただければと考えています。

教育長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

小松委員: 各報告を聞きますと、子どもたちの力となる充実した環境が皆様のご尽力のおかげで整えられています。そのおかげで子どもたちの力がついてきていると私たちも感じております。今後の課題についても私たちも力になっていきたいと思います。

子育て支援コーディネーターの報告で、母たちが相談しやすく子育てしやすい環境が大事だと思います。育児についてネットで調べれば出てきますが、やはり人と直接かかわって人が感じられるところで相談できると安心して子育てできるのではないかと思います。子育て支援がこれからもっと充実していけばよいと思います。

坂口委員: 子どもたちの通学の件でお願いします。水曜日にバスを出していただけて有難いのですが、やはり普段のスクールバスを導入していただけないと思います。保育園児が一人で村のバスに乗せて登園させることが、これで本当に良いのかと思います。最終的には、乗せた親の責任になるのだろうなと思いますながら子どもを乗せています。その時間だけは村で雇った先生が同乗するとか、今後も村バスを登園バスとして出すのであれ

ば、安全な通園通学をしっかりと検討してほしいです。

バスで何かあった時に子どもの言い分は通るのかなと思います。おそらく通らないと思います。「子どもの言っていることだから」となるでしょう。そういうことを踏まえて、信頼できる大人が乗っていることで送り出す親は安心します。普通に考えて大人が乗っていないということは考えられません。通園手段として出すのであれば、しっかりと整備をしていただきたいと思います。

下校後については、働いている親は、お金を出して児童クラブを利用します。バス待ちの子どもは、バスの時刻まで無料で学校に居ます。皆が平等とはどう言うことだろうと思います。誰でも下校時刻になったらバスに乗って帰り、帰れない子は児童クラブへ行く状況にしていくことが誰もが平等に繋がっていくと考えています。

子育て支援でいろいろ無償化していますが、子どもたちが安心して通えることができ、この学校に通えて良かったと思える仕組みを充実してもらいたいと思います。

教 育 長: スクールバスについては、村長も課題として捉えています。もう一つの問題は業者の運転手不足もあります。経営にかかわる部分も絡んでいます。教育委員会として一番は子どもたちの安心安全であります。総合教育会議もあります。そこで出していただければと思います。

高野委員: 保小中の活動を見て、手厚く子どもたちが成長する機会を作ってくださいていると感じます。高校に入ってからの子どもたちの情報が入りにくい現状があります。社会人になってからも気がかりです。引きこもりへの対応窓口は教育委員会ではないとは思いますが、情報をつかめるきっかけの窓口や保護者が相談できる敷居の低い所であれば有難いです。

義務教育のお子さんだけでなく、二十歳まで見ることができる体制づくりができるといいと思います。二十歳の集いはありますが、お互いに情報をやり取りできるきっかけづくりをしてほしいです。二十歳以降に挫折する人がいます。お母さんたちも閉じこもりがちになる人もいます。

小山職務代理: 村に一つの保育園、一つの小学校、一つの中学校であります。中学までは同じような仲間がいて、それほど大きなカルチャーショックはありません。しかし、高校へ行く時が一番大きなカルチャーショックがあるのかなと思います。規模の小さなところから何百人規模の高校へ行き、地域的にもこの小さな村から慌ただしい大きな地域へ行ってショック

があるのかなと思います。

もちろん教育委員会が支援する必要はないかもしれませんが、送り出す側としてはそのようなカルチャーショックをうまく吸収してほしいと思います。

また、この時期にいつも思うことですが、受験も志望校を絞っているとは思いますが、大学受験までの生きがいと言いますか、偏差値の高い学校へ行く事もいいのですが、記憶力によるところが大きいのかなと思います。要するに社会に出たときにすべてが通用するわけではないことを子どもたちには伝えていってほしいと思います。

我々の頃は終身雇用でありました。最近では勤める方も雇う方もずっと一緒ではないと思っています。なので、自分で逞しく生きていくことが大事になってきます。どの社会でもそうですが、偏差値の高い大学を卒業した人が必ずしも社会で通用しているかとは限りません。小中学校のころから逞しく生きる力を身につけていってほしいです。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項をお願いします。

宮下次長: 信州大学との連携協議会であります。学校と日程調整をしたにもかかわらず希望日ではない3月27日と信大から報告がありました。ご対応よろしくお願いします。もし対応が難しい場合には、今年度の学校給食を含む取組について資料をいただければと思います。

文化財防火訓練についてであります。3月15日に福満寺で行われる予定となっております。

スクールパートナーズ運営委員会が3月10日に予定しております。なかなか思うように進んでいない状況にあります。ボランティアの方々の依頼の仕方についてはネットワークの構築をしていくことによって少しずつ動き出していくのではないかと考えています。

教 育 長: この件について何かあればお願いします。よろしいでしょうか。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 4月14日(火) 午前9:30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして3月の定例教育委員会を閉じます。